

質問事項に対する回答書

工事名： 築第5号 旧広瀬氏庭園南煉瓦塀耐震補強等工事(I期)

No.	質 問 事 項	回 答
1	設計図 A-09 煉瓦補修図の亀裂補修の凡例に、横目地にアラミドロッドを挿入し、モルタルを注入すると記載されていますが、アラミドロッドの仕様について、設計図や数量書の摘要に記載が無く不明です。ご教示ください。 参考：B-Star 工法（認定工法）、アラミドロッド特注 19,800 円/m $5.2\text{m} \div 0.07 = 74.28$ $76 \times 0.4\text{m} = 30.4$ $30.4 \times 19,800 = 601,920$ 円	亀裂補修の工法は、内訳書による亀裂補修（グラウト注入のみ）を正とします。 なお、煉瓦の取り解き状況によっては、監理者との協議により、お見込みの参考工法によるアラミドロッド挿入を実施するように変更すること考えられますが、その場合は契約変更にて対応いたします。
2	設計図 A-10 土壁復旧図（敷地側）に土壁は、当初に倣い復旧すること。復旧に際しては、掻き落としした土を再用する。と記載されていますが、設計書の項目に掻き落としの項目がありません。内訳を含める科目をご教示ください。 参考：土掻き落とし、混練手間 $40.9 \text{ m}^2 \times 13,500$ 円 = 552,150 円	内訳書のうち、左官の「土塗り」の項目に含めてください。
3	設計書の共通仮設費（積上）において、交通誘導員が 25 人と 記載されています。交通誘導員の配置想定（位置・期間等）をご教示ください。 また、道路の通行止めを行う全期間に交通誘導員の配置は不要と理解してよろしいでしょうか。	交通誘導員は、煉瓦塀南側道路に重機を配置して通行止めとして作業を行う期間において、重機付近に配置することを想定しております。 なお、通行止めを行う全期間に交通誘導員を配置することは不要と考えております。
4	解体、再用する笠石、煉瓦、土壁の掻き落とし土の保管場所、清掃、再用・不再用を選別する場所を御指示ください。 また、その際の運搬費を計上する科目、細目をご教示ください。	保管等する場所は、改修対象の煉瓦塀に隣接する南庭の一部を利用するように見込んでおります。 なお、運搬費は内訳書のうち、解体の「笠石解体」「煉瓦塀解体」、左官の「土塗り」に含めてください。